

事業活動で生じる環境負荷の低減

気候変動への対応・脱炭素社会の実現

TCFD提言に沿った情報開示 → 参照ページ P21-22

PPIHグループ 脱炭素目標

- 2030年までに 店舗から排出するCO<sub>2</sub>排出量を**50%**削減（2013年度比）
- 2050年までに 店舗から排出するCO<sub>2</sub>排出量を総量で**ゼロ**にする 対象：国内、拠点含む

「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」への加盟

PPIHは、「日本気候リーダーズ・パートナーシップ」に賛助会員として加盟しました。JCLPは、脱炭素社会の実現に向けて企業の枠を超えて活動に取り組む日本独自の企業グループで、国際非営利組織The Climate Groupとのパートナーシップのもとで日本のRE100加盟窓口も務めています。

JCLPへの加盟を通じて、参加する環境の先進企業との協働による脱炭素化を推し進め、PPIHグループ脱炭素目標を着実に達成するとともに、引き続き持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

実現に向けた主な取り組み

省エネ機器の導入

PPIHグループは、店舗の空調設備や冷蔵・冷凍ケースを効率よく運転する省エネ機器の導入や、設備機器システムの適切な運用により、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努め、店舗運営における環境負荷を軽減しています。

省エネ機器  
導入店舗数

対象：ドン・キホーテ、ユニー、長崎屋、UDリテール（2022年6月現在）  
空調設備：**334**店舗  
冷蔵・冷凍ケース：**17**店舗



店舗で省エネ・節電を呼びかけ

再生可能エネルギーの活用

PPIHグループは、事業活動を通じて排出されるCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、一部店舗において太陽光発電を導入し、再生可能エネルギーの創出を推進していきます。

導入店舗数

ドン・キホーテ**4**店舗、ユニー**10**店舗、UDリテール**2**店舗（2022年3月現在）

太陽光発電量

**600,560**kwh  
（2021年4月～2022年3月）



MEGAドン・キホーテ甲府店の太陽光パネル



ハワイのDonQuijoteカヘカ店の太陽光パネル

海外事業における環境負荷低減の取り組み

拡大する海外事業にも環境負荷の低減の取り組みを進めるため、サステナビリティ委員会に「海外における環境課題への取り組み」をテーマとした分科会を設置し、海外各国、各地域の制度や文化にあったさまざまな取り組みを進めています。

シンガポール

●油のろ過機導入による廃油の削減

タイ

●困窮世帯への食品寄付によるフードロスの削減

台湾

●廃プラスチック原料の有効活用による廃棄物の削減  
●純綿素材を使用したユニフォームの導入

香港

●リサイクルトレイの利用推進によるCO<sub>2</sub>削減

マレーシア

●不織布レジ袋の販売による使い捨てプラスチック削減

マカオ

●プラスチックレジ袋の取り扱い廃止による環境保護の取り組み

物流過程におけるCO<sub>2</sub>排出量削減

PPIHの物流拠点である当社パートナー、センコー株式会社の関東拠点（埼玉県さいたま市）と関西拠点（大阪府泉大津市）の在庫移動については、これまでは全区間トラック輸送にて運用していました。環境負荷の軽減に向け、トラック輸送の一部区間を鉄道輸送に切り替えるモーダルシフトを実施。CO<sub>2</sub>排出量とドライバー運転時間の2つの面で大幅な削減ができました。モーダルシフトへの切り替えをするにあたり、積込・荷下ろし時の待機時間発生や荷物がバラ積みバラ卸の

ため荷役時間が長くなるなど課題が発生しましたが、時間調整、物量調整を工夫し、実現しました。

| 年間輸送実績ベース                                | 転換前   | 転換後 | 効果           |
|------------------------------------------|-------|-----|--------------|
| CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> ) | 121   | 34  | △87(△72%)    |
| 運転時間 (時間)                                | 1,680 | 300 | △1,380(△82%) |

※CO<sub>2</sub>排出量は改良トンキロ法により算出

廃棄物削減・リサイクル強化

古紙リサイクルステーション

MEGAドン・キホーテ、ドン・キホーテの一部店舗では、店頭で段ボールや雑誌などの古紙を回収するリサイクルステーションを設置し、地域のお客さまにご利用いただいています。持ち込んだ古紙は1kg=1majicaポイントとして利用者に還元され、PPIHグループ店舗でのお買い物にご利用いただけます。また、回収した古紙は地元のリサイクル業者を通じて再生されます。家庭ごみの削減と資源の有効活用を実現し、さらにポイントを貯められるお得なサービスとして、お客さま

からご賛同をいただき、店舗の再来店につながっています。PPIHグループはこうしたサービスを通じて、お客さまとともに循環型社会の実現に取り組んでいます。



販促物に伴う廃棄物の削減

商品の販促物はメーカーが宅配便で各小売店舗に送付する商慣習があり、個別包装のための段ボールが消費・廃棄され、また店舗で活用されないまま廃棄に至るさまざまな無駄も発生しています。

このようなサプライチェーンにおけるさまざまな無駄を改善し、廃棄物の削減及び業務の効率化を図るため、メーカー

であるロート製菓さま・卸売であるPALTACさま・当社グループのドン・キホーテ店舗が連携し、販促物の必要数量と設置店舗を厳選するとともに、環境負荷の低い紙素材の使用や、拠点への一括納品の仕組みを構築しています。今後もお取引先さまとサプライチェーン全体の最適化・効率化を図り、廃棄物の削減に取り組んでいきます。